

八戸市地域おこし協力隊活動
状況報告書

八戸市長
熊谷 雄一 殿

隊員氏名 大久保 加名子

次のとおり活動したことを報告します。

【活動報告月：2024年12月分】

1. 実施した活動の概要・状況

ECサイト(ローカルマーケットオンラインショップ)運営・改修作業、「冬のおすすめギフト」企画運営、ふるさと納税業務(新規返礼品の提案)、クリッピング作業、ラジオ出演、SNSによる広報活動を行った。

(主な活動)

【ふるさと納税新規返礼品提案】

VISIT はちのへでは、八戸市からふるさと納税の返礼品に係る業務を受託しており、各事業者の出品から登録までのサポートや、受発注・請求業務を主に行っている。令和5年度のふるさと納税の受入額は、総務省によると全地方自治体で約1兆1,175億円(約5,895万件)の過去最高の実績(前年比120%(110%))であった。八戸市では、同年度で約1億5,900万円(7,750件)の実績であり、前年比105%(112%)である。八戸市と同規模の中核都市(宝塚市や伊勢崎市)と比較すると、寄付受入額は約▲1億円の差がある。

その中で、今後実績を積み上げていくための課題の一つとして「返礼品の充実化」が挙げられている。さらに八戸市は水産都市であるが、全体登録返礼品数が261品に対し、水産関係返礼品は42品と大変少ない。これは水産関係返礼品の登録自体が進んでいないことが一因である。そのため、VISIT はちのへとして水産関係返礼品をメインに新たな返礼品の作りこみが必要となり、現在従事している。すでに返礼品として競合が多い品以外の、八戸ならではの品や他の自治体と差別化できる品(例えば「いちご煮」)をリサーチし、各メーカーから情報や必要書類を仕入れ、返礼品内容を作り、八戸市へ提案をし、ポータルサイトに掲載する商品説明や販売促進のテキストの作りこみをするという流れである。

返礼品の充実化を図ることにより、八戸市の特産品や文化・観光資源などの魅力を伝え、寄附者と自治体との協力を通じて地域への活性化につなげることができるこの制度を活かしていくための一役を担っていくことができたらと思う。

2. 翌月の活動予定

ECサイト運営・改修作業、ふるさと納税業務(新規返礼品の提案)、新春朝市従事、SNS発信など